

西中陸上部女子リレーチーム

目指せ、全国優勝

西中学校の陸上競技部女子リレーチーム(4×100m)が、7月8日に千葉県総合スポーツセンター東総運動場(旭市)で行われた全日本中学校通信陸上競技千葉県大会で標準記録を突破して優勝し、全国大会への出場を決めました。チームのベストタイムは、昨年の全国優勝タイムを上回り、今年の全国ランキングでも1位。7月28日に行われた千葉県総合体育大会でも大会新記録で優勝を果たしており、今月20日から宮城県で開催される全国大会での活躍が期待されます。



チームワークで全国制覇を目指すメンバー



掛け声とともにみこしをもむ子どもたち

磯部地区子どもみこし

小さな担ぎ手が元気よく

子どもだけが担ぎ手となり、五穀豊穰・無病息災を祈願する子どもみこしが7月20日、磯部地区で行われました。当日は時折強い雨が降る悪天候にもかかわらず、子どもたちは威勢のいい掛け声とともにみこしを担ぎ、地区内を元気よく練り歩きました。

北京市中学生が中台中へ

部活動や音楽を通じて交流

千葉県訪日教育旅行促進協議会の招きにより、中国北京市の文滸^{ぶんぽん}中学校2年生33人が7月13日、中台中学校を訪れました。体育館で行われた歓迎会では中台中が3年生全員による合唱を、文滸中が代表による歌と踊りを披露。歓迎会後はバスケットボール、卓球などの部活動でも交流を深めていました。



一人ひとりがプレゼントの交換を

水質浄化の仕組みを学ぶ

環境学習の一環として、吾妻中学校2年生が「ビオトープいかだ」を7月12日、赤坂公園の調整池に浮かべました。ビオトープとは人間によって再構成された自然環境のことで、今回作ったいかだは炭の力で水を浄化して水辺の生物の棲息空間を確保するというものです。生徒たちはクラスごとに間伐材で骨組みを作り、炭を袋に詰めそこにショウブを植栽。苦勞して作り上げた後は歓声を上げてそれぞれのいかだを池に進水しました。この活動は3年前から行われており、現在池には11のいかだが浮かんでいます。来年の春にはショウブが花を咲かせると思いますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



クラスごとに3つのいかだを作成



大きな選手にも果敢に挑む

サッカー国際親善試合

本場欧州のチームに挑戦

サッカーの本場ドイツから来日したデュッセルドルフ市の17歳以下選抜チームと市内中学校選抜チームが7月13日、中台運動公園陸上競技場で親善試合を行いました。小雨混じりの悪コンディションにもかかわらず、会場には大勢の観客が訪れ、両イレブンに期待を裏切らぬすがすがしいプレーを披露。試合終了後、市選抜チームゴールキーパーの田中達也主将は「ゴールをたくさん決められたがいい経験になった」と語り、悔しさをにじませながらもその目は確かな目標を見据えていました。

人権教室in中台小学校

大切なこと、楽しく学んで

かわいい人権のイメージキャラクター「人KENまもる君」と「人KENあゆみちゃん」が中台小学校に登場！二人は7月19日に開催された「人権教室」のゲストとして同校を訪れ、子どもたちと一緒に人権について学びました。教室は5・6年生を対象に行われ、人権擁護委員による分かりやすい人権の話とまもる君・あゆみちゃんも参加した人権クイズの二部構成。学習を終えた子どもたちは笑顔で「人権について楽しく学べた」と感想を話していました。



やった、正解だ！（人権クイズ）